

## 新オレンジプランの推進における課題について

### 概括的意見

- 1) 介護者支援の強化と具体的方策の提言  
認知症者を取り巻く介護者、家族への支援を具体的に提示する（介護負担の軽減、BPSD に対する対応の仕方等を含めた介護教育、介護者の生活支援、メンタルサポート、就労参加など）
- 2) 高齢者認知症の包括的診療体制の確立（初期から入所者、在宅を含めて）  
医療従事者の対応力向上に向けて老年病専門医（老年医学会）の果たすべき役割を明確にする（具体的には鳥羽先生の提案に賛成）

### 自由記載

介護者教室の効果に関しては、まだ明確なエビデンスはありませんが、一部施設からの発表では、介護者うつや介護負担を軽減できる可能性があります。認知症の正しい理解や BPSD への対応等についての教育、啓蒙は、認知症診療にとり重要ですが、今後どのように普及促進させていくか、具体的な施策を示していく必要があります。例えば、認知症疾患医療センター等が中心となっていくのか（ここだけで可能とは思えませんが）、診療報酬として加算できるのか、などで

他にも、介護負担を軽減できる方法などを模索していく必要があると考えます。

### 認知症者を取り巻く社会環境の改善

徘徊、万引き行動などの反社会的行動への対応など

（例）デパート、スーパーなどで店員を対象とした徘徊、万引き認知症者への対応に向けた研修など（講義形式ではなく、小グループによるワークショップ、ロールプレイなどが効果的）

### 認知症者の社会参加

初期または軽度認知症であれば、手続き記憶も残存し、長い期間蓄積されてきた専門的職業の技能を継続することは可能

（例）元音楽家 — デイ先でピアニストとして活躍 など